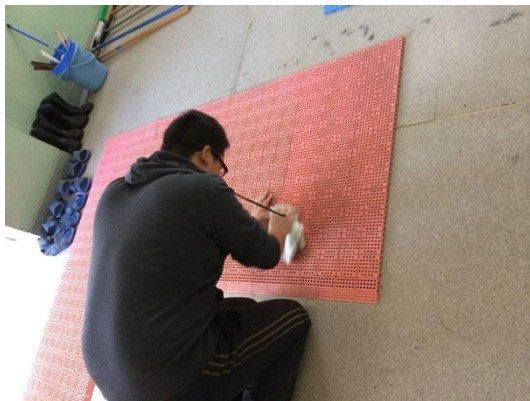
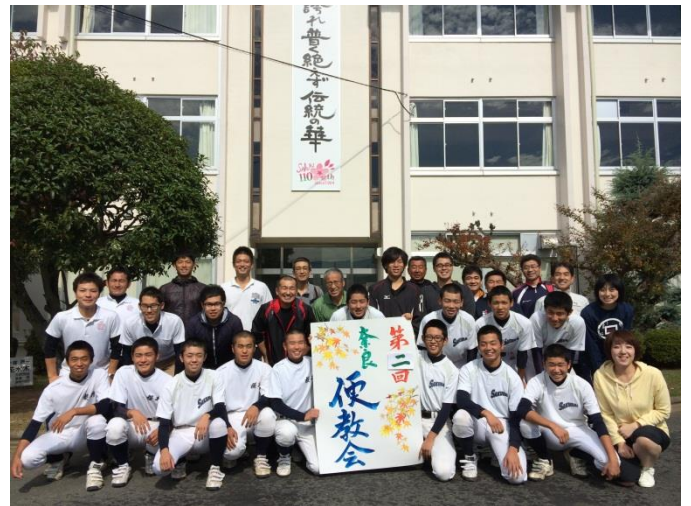


第2回奈良便教会

2014年10月25日(土)

第二回奈良便教会を10月25日(土)に奈良県立桜井高等学校をお借りし、開催させて頂きました。私の勤務校が都合悪く、貸して頂ける場所を探していたところ、「なかよしの掃除に学ぶ会」を進めておられる羽根さん、大谷先生からのご縁で桜井高校の森島先生を紹介させて頂きました。急なお願いにもかかわらず、快く承諾してくださり、今回の開催になりました。何も考えず、お願いの連絡を入れ、返事一つで了解を頂きました。お会いしたことの無い私からのお願いを承諾してくださる森島先生に感謝の気持ちでいっぱいです。



☆野球部の生徒から

桜井高校に到着すると、校門ではすでに野球部の生徒がまっすぐ立ち出迎えてくれました。帽子をとり、深々と「おはようございます」。そのほかの生徒は、ほうきやちりとり片手に清掃活動をしていました。それぞれの場が輝いていました。清掃していることが日常の当たり前になっている。自然とその活動に向かっているのだという感じを受けました。

体育館をお借りし、自己紹介から始めました。生徒の話聞く姿勢に感動しました。その後トイレ掃除の実践に移りましたが、生徒たちの姿勢は想像がつかしました。トイレ掃除は生徒と教員は別の場所でさせて頂いたので実際はわかりませんが、実践後の体験発表の感想を聞いているだけで、素晴らしい実践になったことが伝わってきました。それぞれの感想も気づきあり学びあり、今後生きてくると感じました。そこでもやはり聞く姿勢に感動です。感想を言う人の方向にまっすぐ体を向け、背もたれを使わず、背筋がピンと伸びていました。何をとっても「当たり前になっている」行動ひとつひとつから感動です。

☆実践を通して

なかよしの掃除に学ぶ会の羽根さんが「今日は細面を意識して取り組みましょう」と初めに声かけがありました。そのとき、はっとさせられました。細かいところに目を向けることがなかなかできていなかった自分に気がつきました。始める前にひとつテーマがあるだけで、取り組み方が変わるなど感じました。参加された皆様も同じように感じられたと思います。トイレは一見きれいに見えましたが、入ってすぐのマットの下や換気扇の奥には埃がいっぱいでした。やはり見えていない部分にどれだけ目を向けられるかが大切だなどという学びです。みなさんの取り組まれている姿からは、一所懸命取り組まれる美しい姿がありました。子どもたちが取り組む姿と同じで、何かに無心に取り組むことは、やはり人として輝きを放つ、姿勢から周りに伝えることができると改めて感じました。普段口ばかりでなく、姿勢で示すことのできる人になることが大切だと思いました。



今回も開催させて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。開催するにあたり、学ぶ場所をお貸ししてくださった桜井高校、森島先生。遠くからも駆けつけてくださった仲間。新しくご縁を頂いた方々。東北石巻からは、浅野さんが手洗い後の消毒液を送って下さいました。近く、遠くと距離関係なく活動に際し、心を寄せてくださっている方々がたくさんいます。本当に有り難いです。幸せです。

「やったら出来た」「やり続けたら出来ていた」

「知らぬ間に出来た」「気が付けば出来ていた」

桜井高校に掲示されていた言葉のひとつです。「やってみることで気づくことがある」いつも感じます。これからも支えて頂きながら実践していければと思います。簡単ですが、活動報告とさせていただきます。



奈良便教会世話人 小峠大地